

## ◆ 40年間使用されたマックスホッチキス

「SYC・10 YAMADA KOGYOと刻印してあるホッチキスを持っています。愛着があるのですが、資料価値が有るのでしたら差し上げたい」と、平成4年3月18日に、電話が入りました。そこで、マックスではさっそくこのお客様を訪問させていただきました。

里帰りしたホッチキス



「購入したのは昭和28年で、価格は200円でした。当時は国電の蒲田駅～品川駅間で子供料金が5円でしたから、子供の私にとって高い買物だったと記憶しています」お手もとのホッチキスは、プラスチックの指掛けはなく、指を安定させるため金属のボディに凹が付いているタイプでした。ばねの部分は壊れてしまい、輪ゴムをつけて今まで使用されていたとか……。

今このホッチキスは、40年の役割を果たしマックスに里帰りしました。お客様からこんなにも愛されたホッチキスを、目の前にすると、メーカーとして無上の喜びと、良いものを作る大切さを改めて教えられます。お客様は東京で歯科医を開業されている國分征二様です。有難うございました。

### 編集後記

ようやく仕上がったこの原稿の紙片を揃えて、ホッチキスでぱちんと綴じて完成。気分のよい一瞬を味わいました。何気なく使うホッチキスは、はじめをしっかりと付けてくれる演出家といったところですよ。

マックスではホッチキスに関する、お問い合わせを沢山いただいています。それらの質問にお答えしている内に、この『ホッチキス物語』の考えが浮かんできました。「こんな事が知りたかった」という内容がひとつでも入っていただけましたら、頑張った甲斐があります。

マックスは時代のニーズをいち早く捉え、国産初の小型ホッチキスを世に送り出しました。現在は10号ホッチキスの国内シェアは約75%とおお客様の信頼を得ています。新技術で新市場を創造するマックスは「使う人が満足するモノづくり」にこだわり続けます。

※文中の表現で事実と異なる箇所、またホッチキスに関する新事実など、ご存じでしたら、どうかご一報ください。

#### 『ホッチキス物語』

発行日 平成4年(92)11月26日 初版  
平成8年(96)1月11日 改訂第1版  
平成14年(02)7月9日 改訂第4版  
平成20年(08)10月20日 改訂PDF版  
発行 マックス株式会社 IR・広報室  
住所 〒103-8502  
東京都中央区日本橋箱崎町6-6  
電話 03-3669-0311  
非売品 無断転載はご遠慮ください。